



Bulk Trace Analysis

Bulk Trace Analysis は Serviceability プラグイン アプリケーションです。これを使用すると、管理者は 2MB を超える大容量のデータを含むトレース ファイルを分析できます。Bulk Trace Analysis は、Cisco CallManager ネットワーク上の PC からスタンドアロン アプリケーションとして実行します。

この章の構成は、次のとおりです。

- [Bulk Trace Analysis の概要 \(P.13-2\)](#)
- [Bulk Trace Analysis 設定のチェックリスト \(P.13-4\)](#)
- [参考情報 \(P.13-5\)](#)

Bulk Trace Analysis の概要

Cisco CallManager Serviceability は、次の 2 つの SDI/SDL トレース分析プログラムをサポートします。

- **Trace Analysis** : Serviceability に組み込まれ、Cisco CallManager ノードから実行されます。Trace Analysis は、2 MB 未満のデータを含むトレース ファイルについての特定の情報を取得する方法を提供します。Trace Analysis は、Trace Configuration および Trace Collection とともに動作します。
- **Bulk Trace Analysis** : Cisco CallManager ネットワーク上の任意の PC から実行するスタンドアロン プラグインです。Bulk Trace Analysis は、2 MB を超えるデータを含む 1 つまたは複数の XML トレース ファイルについての特定の情報を含むレポートを作成する方法を提供します。Bulk Trace Analysis は、Trace Configuration および Trace Collection とともに動作します。

Bulk Trace Analysis ツールでは、次の機能がサポートされています。

- (Cisco CallManager から独立した) ネットワーク内の任意の PC で動作して、Cisco CallManager の処理能力を使用せずに、大きなトレース ファイルを分析できます。
- 入力ソース データとして複数のトレース ファイルを使用して、トラブルシューティング目的で分析できる情報のレポートを作成します。
- Trace Collection ツールを使用して作成される zip 圧縮されたトレース ファイルをサポートします。
- 1 つのレポートの複数ビューを使用して、複数のトレース ファイルを同時に比較して分析します。
- レポート フォーマットのカスタマイズ、タイプによるトレース情報のソート、特別なトレース タグおよび日付と時刻による情報のフィルタ、およびレポートの印刷ができます。
- リモート Cisco CallManager ノードからトレース ファイルを取得します。

Bulk Trace Analysis プラグインは、Cisco CallManager パブリッシャ ノードまたはサブスクライバ ノード以外の PC にダウンロードしてインストールする必要があります。

トラブルシューティング目的で分析する必要がある、大きな SDI/SDL トレース ファイルがある場合は、Bulk Trace Analysis を使用します。トレースを実行しデータを収集した結果、トレース ログ ファイルのサイズが 2 MB を超える場合があります。Trace Collection ツールは、トレースが 2 MB を超え、自動的にトレース

ファイルを zip する場合、ユーザに警告します。この zip ファイルは、フロッピーディスクに保存できます。また、ネットワーク上の別の PC からリモートでアクセスできます。

この zip したトレースファイルを使用して、トレースから取得した情報の分析に役立つレポートを作成できます。

レポートが作成されたら、その情報をカスタマイズして、同じ情報の様々なビューを取得できます。入力データとして複数の（最大 5 ファイルを推奨）トレースファイルを使用して、レポートを作成することもできます。データを詳細に比較するため、複数のレポートを同時に開くことができます（最大 3 レポートを推奨）。

Bulk Trace Analysis 設定のチェックリスト

表 13-1 は、Bulk Trace Analysis を設定する手順の概要を示しています。

表 13-1 Bulk Trace Analysis 設定のチェックリスト

設定手順		関連する手順と項目
ステップ 1	Bulk Trace Analysis プラグインのインストール	『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』の「Bulk Trace Analysis のダウンロード」 『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』の「Bulk Trace Analysis プログラムのインストール」
ステップ 2	SDI XML トレース ファイルおよび SDL XML トレース ファイルを作成します。	『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』の「トレース収集の設定」
ステップ 3	SDI XML トレース ファイルまたは SDL XML トレース ファイルからレポートを作成します。	『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』の「Bulk Trace Analysis の使用」

参考情報

関連項目

- 『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』の第 5 章「トレースの設定」
- 『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』の第 6 章「トレース収集の設定」
- 『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』の第 7 章「トレース分析の設定」
- 『Cisco CallManager Serviceability アドミニストレーションガイド』の第 24 章「Bulk Trace Analysis」

